

# グローバル財産3分法 ファンド（毎月決算型）

追加型投信／内外／資産複合

作成対象期間：2023年6月13日～2023年12月12日

第 213 期 決算日：2023年7月12日 第 216 期 決算日：2023年10月12日

第 214 期 決算日：2023年8月14日 第 217 期 決算日：2023年11月13日

第 215 期 決算日：2023年9月12日 第 218 期 決算日：2023年12月12日

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、世界各国の株式、リート、新興国の債券を実質的な主要投資対象とし、それぞれ純資産総額に対して3分の1程度の投資を行うことにより、安定的な収益の確保とリスク分散をはかることを目指して運用することを目的としています。ここに運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

### 第218期末（2023年12月12日）

基準価額 9,782円

純資産総額 12,178百万円

### 第213期～第218期

騰落率 +9.7%

分配金合計<sup>(\*)</sup> 150円

(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

(\*) 当期間の合計分配金額です。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

閲覧・ダウンロード方法



<https://www.am.mufg.jp/>

[ファンド検索] に  
ファンド名を入力

各ファンドの詳細ページで  
閲覧およびダウンロード

 **MUFG** 三菱UFJアセットマネジメント

東京都港区東新橋一丁目9番1号  
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

### ■当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用  
フリーダイヤル  **0120-151034**

(受付時間：営業日の9：00～17：00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

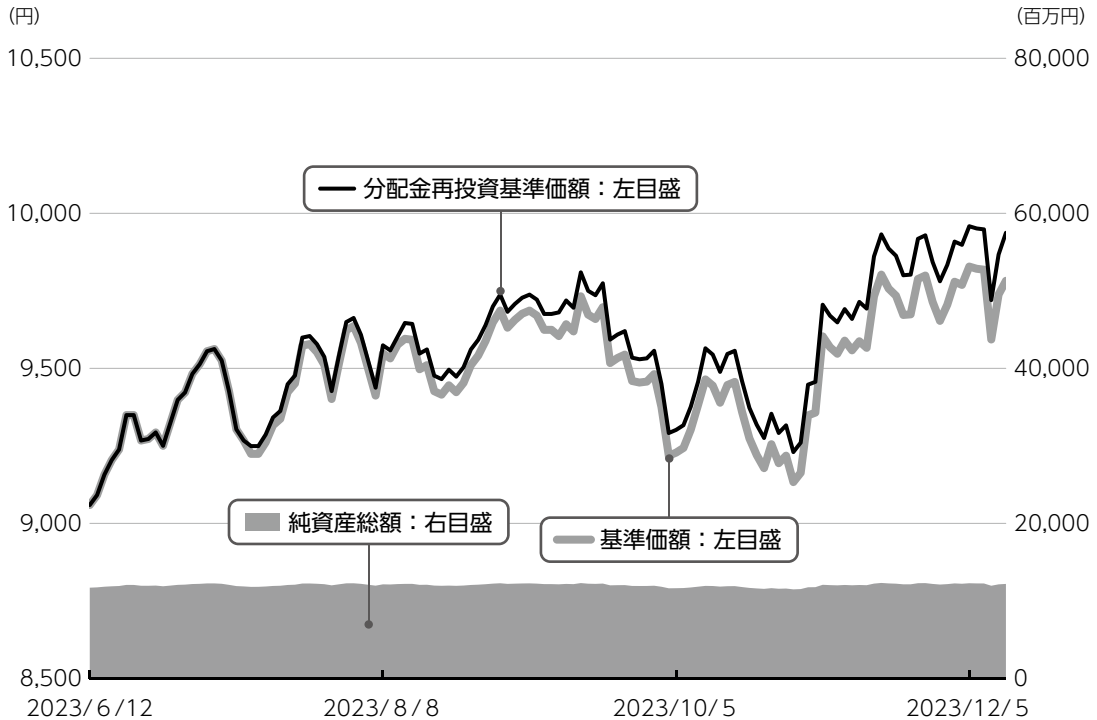
お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

# 運用経過

第213期～第218期：2023年6月13日～2023年12月12日

## ▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移



第213期首	9,059円
第218期末	9,782円
既払分配金	150円
騰落率	9.7%

(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

### 基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ9.7%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

## 基準価額の主な変動要因

### 上昇要因

グローバル株式インカム マザーファンド受益証券の基準価額上昇が上昇要因となりました。

組入ファンド	騰落率	組入比率（対純資産総額）
エマージング・ソブリン・オープン マザーファンド	11.2%	32.1%
ワールド・リート・オープン マザーファンド	7.3%	32.5%
グローバル株式インカム マザーファンド	13.8%	32.9%

2023年6月13日～2023年12月12日

1万口当たりの費用明細

項目	第213期～第218期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	75	0.786	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(42)	(0.440)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(29)	(0.302)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(4)	(0.044)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	4	0.040	(b) 売買委託手数料 = 作成期中の売買委託手数料 ÷ 作成期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
（株式）	(3)	(0.027)	
（投資信託証券）	(1)	(0.013)	
（先物・オプション）	(0)	(0.000)	
(c) 有価証券取引税	1	0.011	(c) 有価証券取引税 = 作成期中の有価証券取引税 ÷ 作成期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株式）	(1)	(0.008)	
（投資信託証券）	(0)	(0.003)	
(d) その他費用	1	0.012	(d) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.008)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（監査費用）	(0)	(0.004)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	81	0.849	

作成期中の平均基準価額は、9,494円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

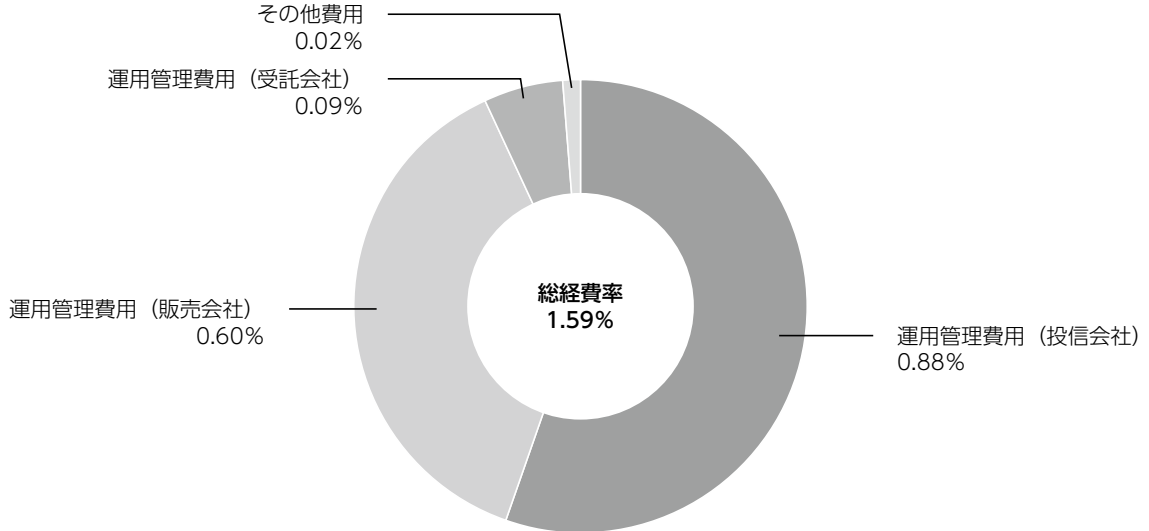
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## （参考情報）

### ■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.59%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

2018年12月12日～2023年12月12日

最近5年間の基準価額等の推移について



※分配金再投資基準価額は、2018年12月12日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

最近5年間の年間騰落率

	2018/12/12 期初	2019/12/12 決算日	2020/12/14 決算日	2021/12/13 決算日	2022/12/12 決算日	2023/12/12 決算日
基準価額 (円)	7,865	8,140	7,321	8,823	8,853	9,782
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	300	300	300	300	300
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	7.5	-6.2	24.9	3.8	14.2
参考指数①騰落率 (%)	—	14.5	11.3	34.6	2.2	24.5
参考指数②騰落率 (%)	—	11.0	-12.7	43.0	-2.3	9.1
参考指数③騰落率 (%)	—	9.2	1.2	8.3	0.0	13.3
純資産総額 (百万円)	13,831	13,310	11,070	12,214	11,686	12,178

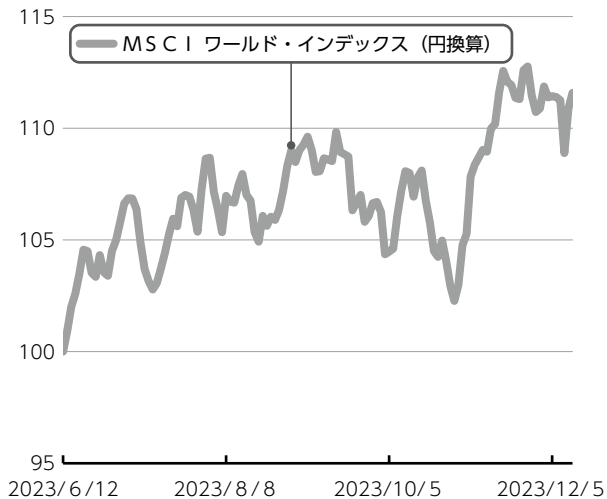
※ファンド年間騰落率は、参考指数年間騰落率と比較するため、収益分配金（税込み）を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

参考指数①は、MSCIワールド・インデックス（円換算）、参考指数②は、S&P先進国REIT指数（円換算）、参考指数③は、J.P. Morgan EMBI Global Diversified（円換算）です。詳細は後記の「指数に関して」をご参照ください。

第213期～第218期：2023年6月13日～2023年12月12日

## 投資環境について

### 株式市況の推移（当作成期首を100として指数化）



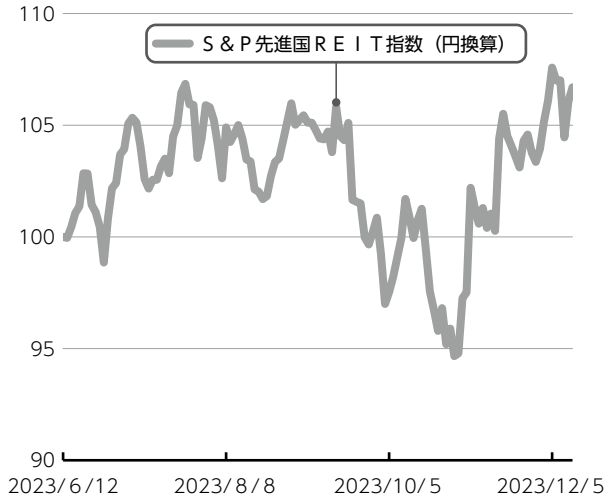
・当ファンドの参考指数は、MSCIワールド・インデックス（円換算）です。

### 株式市況

**株式市況は、期間を通してみると上昇しました。**

期間の初めから2023年7月にかけては、米国の一部の経済指標がインフレ鈍化を示唆したことなどを受け、米連邦準備制度理事会（FRB）による利上げ観測が後退したことや、良好な企業決算が発表されたことなどから上昇しました。8月から10月にかけては、主要中銀が高い金利水準を長期間維持するとの見方が強まったことなどを背景に、米国を中心に金利が上昇したことや、中東の地政学リスクの高まりなどから下落しました。その後、期間末にかけては、米国の利上げ終了観測が広がったことなどを背景に米国長期金利が低下したことなどから上昇しました。

## リート市況の推移（当作成期首を100として指数化）



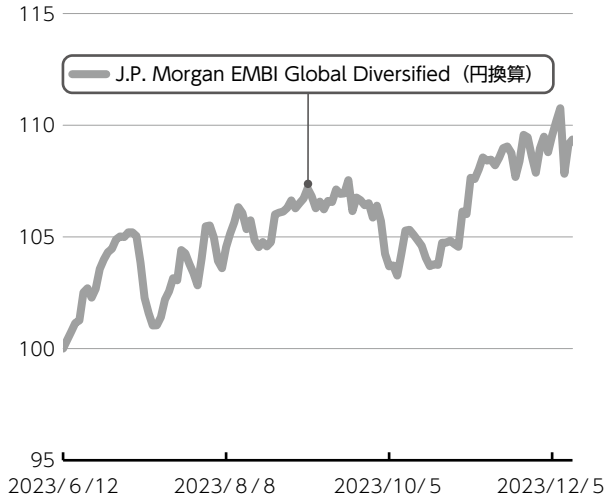
・当ファンドの参考指数は、S & P先進国REIT指数（円換算）です。

▶ **先進国リート市況**  
**先進国リート市況は、期間を通してみると上昇しました。**

期間の初めから2023年10月末にかけては、米国リートの良好な四半期決算などが好感される局面はあったものの、米国を中心とした金融引き締め観測の高まりなどから金利が上昇したことや中東の地政学リスクの高まりなどが嫌気され、下落しました。その後は、米国のインフレ率の鈍化や主要中銀による利上げサイクルの終了観測の高まりなどを受けて上昇し、期間を通してみると上昇しました。国・地域別では、アメリカやオーストラリアの上昇などがプラスに寄与しました。不動産用途別では、データセンターやヘルスケアの上昇などがプラスに寄与しました。



## 債券市況の推移（当作成期首を100として指数化）



・当ファンドの参考指数は、J.P. Morgan EMBI Global Diversified（円換算）です。

### ▶ 為替市況

期間を通じてみると、米国長期金利の上昇による日米金利差拡大などから米ドルが円に対して上昇しました。ユーロ、英ポンドについても円に対して上昇しました。

### ▶ 新興国債券市況

**新興国債券市況は、期間を通してみると上昇しました。**

新興国債券市況は、米国でインフレ鈍化が確認された場面などで市場参加者のリスク回避姿勢が後退したことや、インカム収入を獲得したことなどから、期間を通じてみると上昇しました。

## ▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

### ▶ グローバル財産3分法ファンド（毎月決算型）

当ファンドは、グローバル株式インカムマザーファンド、ワールド・リート・オープン マザーファンドおよびエマージング・ソブリン・オープン マザーファンドの各受益証券を通じて、世界各国の株式、リート（上場不動産投資信託）および新興国（エマージング・カントリー）の債券を主要投資対象としています。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行わない方針としており、為替ヘッジは行いませんでした。当ファンドの純資産総額に対して各マザーファンドへ3分の1程度の投資を行い、各投資割合が一定の範囲内となるよう組入比率の調整を行いました。

### ▶ グローバル株式インカム マザーファンド

世界主要先進国の株式を主要投資対象とし、株式組入比率は高位に保ちました。UBSアセット・マネジメント株式会社からアドバイスを受け、幅広い業種の中から、相対的に高い配当が期待でき、信用力が高いと判断される銘柄に注目し、中長期的な視点に基づいて株価が割安と判断された銘柄を中心に投資してまいりました。

当期間に新規組入、全株売却した主な銘柄のポイントは以下の通りです。

#### 主な新規組入銘柄

ターゲット（アメリカ、小売企業）、シスコ・システムズ（アメリカ、ネットワーク機器メーカー）：株価の割安度が高まったと判断して、組み入れました。

#### 主な全株売却銘柄

ラスベガス・サンズ（アメリカ、統合型リゾート施設運営会社）：株価上昇によって短期的な好材料を織り込んだと判断して、全部売却しました。

イーライ・リリー（アメリカ、製薬会社）：足元の株価上昇は行き過ぎと判断して、全部売却しました。

### ▶ ワールド・リート・オープン マザーファンド

世界各国の上場不動産投資信託を主要投資対象として分散投資を行いました。ポートフォリオの構築は、トップダウンで国や地域、セクター配分等を決定し、ボトムアップで個別銘柄を選定するという、2つのアプローチ（運用手法）の融合により行いました。なお、運用の指図に関する権限は、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・インクに委託しています。不動産へ

の直接投資と比較して（純資産価値対比）割安と判断される銘柄や収益マルチプルの観点で割安な銘柄への投資を継続しました。また、配当性向や負債依存度、業績動向などを考慮のうえ、割安度合いの修正による価格上昇への確信度に応じて、各国・地域や各不動産の用途に対する投資配分や組入銘柄の組入比率を変更しました。

当期間は、不動産への直接投資と比較して（純資産価値対比）割安と判断される一部の業種を投資妙味があると判断し、産業用施設などを高位に組み入れました。企業のIT投資の積極化による需要増加や人工知能（AI）の普及に伴うデジタルデータ量の増大に加えて、供給制約による賃料上昇の恩恵などを受けることからデータセンターなどの組入比率を引き上げた一方、小売りなどの組入比率を引き下げました。

ポートフォリオの個別銘柄では、介護施設やシニア住宅を手掛ける「CARETRUST REIT INC」（ヘルスケア／アメリカ）などを新規に組み入れた一方、ベルギーを中心にヨーロッパで物流施設を手掛ける「WAREHOUSES DE PAUW SCA」（産業用施設／ベルギー）などを全売却しました。

### 国・地域別上位の組入比率

国・地域別上位の組入比率は、期間の初

めのアメリカ70.9%、日本7.9%、オーストラリア5.5%などから、期間末にはアメリカ72.5%、日本7.8%、オーストラリア5.9%などとなりました。

### 業種別上位の組入比率

業種別上位の組入比率は、期間の初めの産業用施設20.7%、小売り20.3%、専門特化型16.0%などから、期間末には産業用施設19.4%、小売り17.7%、住宅16.4%などとなりました。

### ▶ エマージング・ソブリン・オープンマザーファンド

エマージング・カントリーのソブリン債券および準ソブリン債券を主要投資対象としています。エマージング・カントリーが発行する米ドル建のソブリン債券を中心に投資を行い、一部ユーロ建の債券に投資を行いました。

債券等の運用にあたっては、ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーに運用の指図に関する権限を委託しています。

J.P. Morgan EMBI Global Diversified（円換算）を当マザーファンドのベンチマークとしています。

国別では、インフレの改善と安定した通貨の動向などを考慮してハンガリーの組入比率を引き上げたほか、安定したガバナンス傾向やポジティブなファンダメン

タル傾向などを考慮してグアテマラの組入比率を引き上げました。一方、サウジアラビアについては、財政支出の拡大や原油生産高の減少、原油価格の下落により、財政赤字となる可能性を考慮し、組入比率を引き下げました。

なお、米ドル建てロシア国債を全売却しました。

デュレーションは、ベンチマークに対してやや短めとしました。

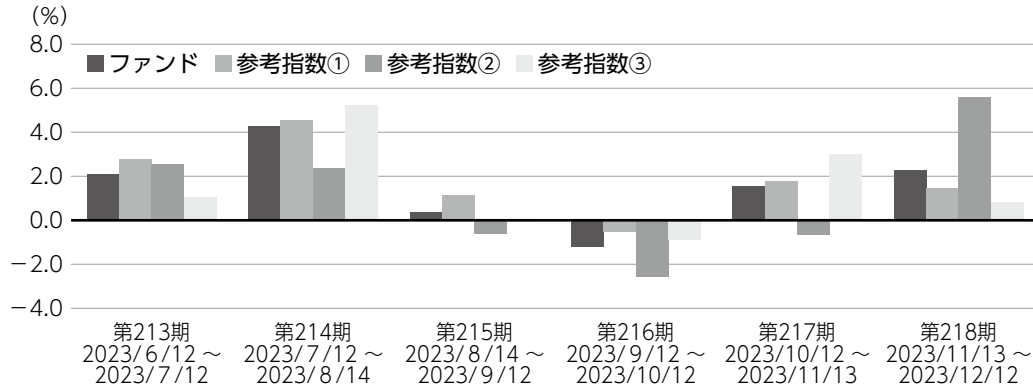
※デュレーションとは、「金利変動に対する債券価格の変動性」を示すもので、債券はデュレーションが大きいほど、金利変動に対する価格の変動が大きくなる傾向があります。

外貨の組入比率を高水準に保ち、米ドル建資産については対円での為替ヘッジは行いませんでした。ユーロ建債券への一部の投資については、実質米ドル建の投資となるように為替取引を行いました。

第213期～第218期：2023/6/13～2023/12/12

▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

基準価額と参考指数の対比（騰落率）



※ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。上記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。

参考指数①は、MSCIワールド・インデックス（円換算）、参考指数②は、S & P先進国REIT指数（円換算）、参考指数③は、J.P. Morgan EMBI Global Diversified（円換算）です。

## 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準・市況動向等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

## 分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第213期 2023年6月13日~ 2023年7月12日	第214期 2023年7月13日~ 2023年8月14日	第215期 2023年8月15日~ 2023年9月12日	第216期 2023年9月13日~ 2023年10月12日	第217期 2023年10月13日~ 2023年11月13日	第218期 2023年11月14日~ 2023年12月12日
当期分配金 （対基準価額比率）	<b>25</b> (0.270%)	<b>25</b> (0.260%)	<b>25</b> (0.260%)	<b>25</b> (0.263%)	<b>25</b> (0.260%)	<b>25</b> (0.255%)
当期の収益	25	23	21	25	20	25
当期の収益以外	—	1	3	—	4	—
翌期繰越分配対象額	2,302	2,594	2,602	2,606	2,601	2,781

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

### ▶ グローバル財産3分法ファンド（毎月決算型）

原則として、当ファンドの純資産総額に対して、グローバル株式インカム マザーファンド、ワールド・リート・オープン マザーファンド、エマージング・ソブリン・オープン マザーファンドへ3分の1程度となるよう投資を行い、各投資割合が一定の範囲内となるよう組入比率の調整を行います。

### ▶ グローバル株式インカム マザーファンド

引き続き、世界主要先進国の株式を主要投資対象とし、株式組入比率は高位に保つ方針です。

当面、やや不安定な相場環境が続くとの見通しの下、個別企業の本質的価値を十分に見定め、キャッシュフロー創出力に比べて割安な銘柄の中から、配当利回りの水準も考慮してポートフォリオを構築するスタンスを継続します。

UBSアセット・マネジメント株式会社からアドバイスを受け、将来に亘って株主に還元できるキャッシュフローの創出力に比べて株価が割安となっている銘柄に投資を行い、配当利回りの水準も考慮してポートフォリオを構築します。

### ▶ ワールド・リート・オープン マザーファンド

引き続き、世界各国のリートに分散投資を行い、リスク分散を図った上で安定した配当利回りの確保と長期的な信託財産の成長を目指します。

当面の運用としては、マクロ環境や実物不動産市況の変化、リート各社の経営内容などに着目しつつ、不動産への直接投資と比較して（純資産価値対比）割安と判断される銘柄や収益マルチプル観点で割安な銘柄への投資を継続していきます。また、配当性向や負債依存度、業績動向などを考慮のうえ、割安度合いの修正による価格上昇への確信度に応じて、銘柄への組入比率を変更していく方針です。

米不動産用途別の投資判断に関して、企業のIT投資の積極化による需要増加やAIの普及に伴うデジタルデータ量の増大に加えて、供給制約による賃料上昇の恩恵などを受けるデータセンターなどを選好する一方、在宅勤務の普及などを受け需給悪化が懸念されるオフィスなどは慎重に見ており、確信度の高い銘柄への選別的な投資を継続する方針です。

## ▶ エマージング・ソブリン・オープン マザーファンド

新興国債券市場は、金利動向、経済見通し、世界の銀行システムの健全性に対する見通しが変化する中で、引き続きグローバル経済の影響を受けています。米国の経済データは堅調を維持し、米連邦準備制度理事会（FRB）はインフレ抑制のために必要であれば金融引き締めを継続する構えを崩していません。一方で十分な国際収支、財政赤字の縮小、コモディティ価格の動向、インフレ低下の見込みなどを受けて新興国のファンダメンタルズは概ね堅調であり、また債務再編が行われた国々の中にも投資機会を見出し得ると考えています。

新興国のソブリン債券および準ソブリン債券を主要投資対象とし、ファンダメンタルズ分析・信用リスク分析に基づく分散投資を基本とし、運用を行う方針です。市場環境に対する認識の下、リスクを管理し、ポートフォリオの運用に臨みます。イスラエルとハマスの紛争の状況は流動的で、より広範な地域紛争に急速に発展する可能性があることから注視しています。また、ロシアとウクライナの紛争、米国のベネズエラに対する制裁緩和、中国の経済成長鈍化予想や同国の不動産セクター危機に関する懸念の高まりなども引き続き注視しています。なお、新興国の間でもばらつきが拡大し、投資機会が

生じる可能性があることから、投資すべき国の見極めが引き続き重要になるとみえています。

国別資産配分については、ファンダメンタルズが良好と見ているハンガリーなど一部の欧州諸国等への配分を重視する方針です。一方、ファンダメンタルズは良好と見ているものの、バリュエーション面で割高感のあるインドネシアなどのアジア諸国に関しては、一部を除いてベンチマークの構成比に対して低めの投資割合とする方針です。

当面、デュレーションは、ベンチマークに対してやや短めとする方針です。

為替取引等について、原則として対円での為替ヘッジは行わない方針です。ただし、ユーロ建資産の一部について実質的に米ドル建となるように行っている為替取引のポジション（持ち高）は、当面維持する予定です。



# お知らせ

## ▶ 約款変更

- ・委託会社の商号変更に対応するため、信託約款に所要の変更を行いました。  
2023年10月1日より商号を三菱UF Jアセットマネジメント株式会社に変更しました。  
(2023年10月1日)

## ▶ その他

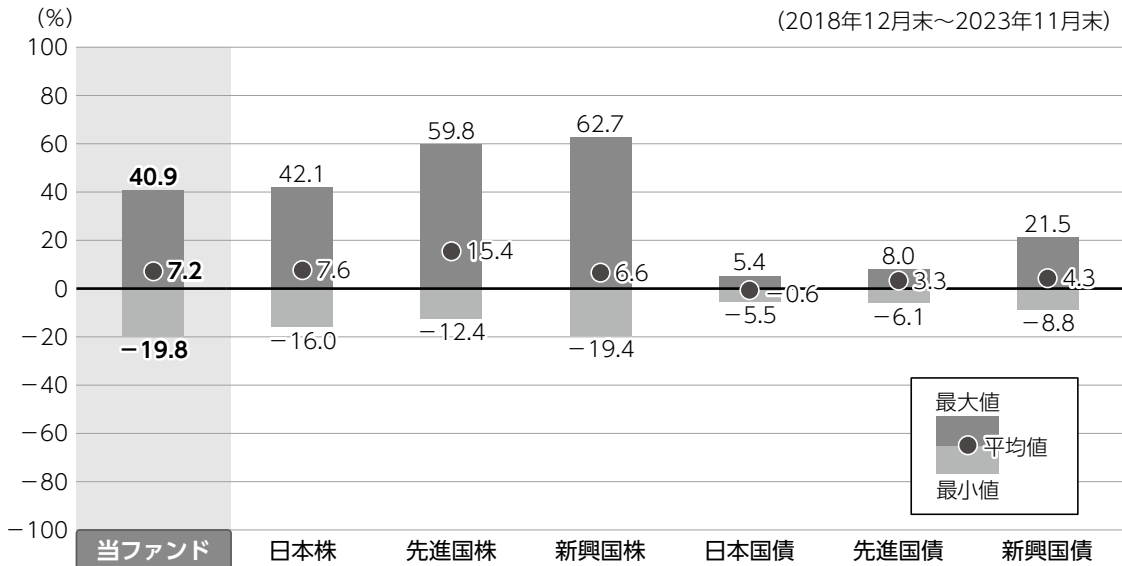
- ・該当事項はありません。

\*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。  
なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) にて開示を行っている場合があります。

# 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	無期限（2005年10月14日設定）
運用方針	ファミリーファンド方式により、世界各国の株式、上場不動産投資信託および新興国の債券を主要投資対象とし、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主要投資対象	<p>■当ファンド グローバル株式インカム マザーファンド受益証券、ワールド・リート・オープン マザーファンド受益証券、エマージング・ソブリン・オープン マザーファンド受益証券</p> <p>■グローバル株式インカム マザーファンド 世界主要先進国の株式</p> <p>■ワールド・リート・オープン マザーファンド 世界各国の上場不動産投資信託</p> <p>■エマージング・ソブリン・オープン マザーファンド エマージング・カントリーのソブリン債券および準ソブリン債券</p>
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原則として、当ファンドの純資産総額に対して各マザーファンドへ3分の1程度の投資を行い、各投資割合が一定の範囲内となるよう組入比率の調整を行います。</li> <li>・実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</li> </ul>
分配方針	毎月12日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準・市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。原則として、配当等収益や分配対象額の水準等を考慮し、安定した分配を継続することをめざします。基準価額水準、運用状況等によっては安定した分配とならないことがあります。毎年7月の決算時には、委託会社が決定する額を付加して分配を行う場合があります。

# ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



●上記は、2018年12月から2023年11月の5年間における1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

## 各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）
日本国債	NOMURA-BPI（国債）
先進国債	FTSE世界国債インデックス（除く日本）
新興国債	JPMorgan Global Diversified

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

●ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

# 当該投資信託のデータ

2023年12月12日現在

## ▶ 当該投資信託の組入資産の内容

### 組入ファンド

(組入銘柄数：3銘柄)

ファンド名	第218期末 2023年12月12日
グローバル株式インカム マザーファンド	32.9%
ワールド・リート・オープン マザーファンド	32.5%
エマージング・ソブリン・オープン マザーファンド	32.1%

※比率は当ファンドの純資産総額に対する各マザーファンドの評価額の割合です。

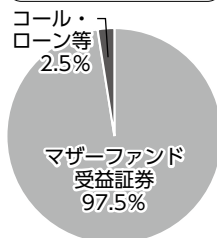
### 純資産等

項目	第213期末 2023年7月12日	第214期末 2023年8月14日	第215期末 2023年9月12日	第216期末 2023年10月12日	第217期末 2023年11月13日	第218期末 2023年12月12日
純資産総額 (円)	11,797,019,722	12,183,817,200	12,127,936,185	11,924,501,580	12,039,110,155	12,178,581,403
受益権口数 (口)	12,789,194,925	12,697,583,701	12,628,272,535	12,599,526,620	12,557,155,053	12,449,357,223
1万口当たり基準価額 (円)	9,224	9,595	9,604	9,464	9,587	9,782

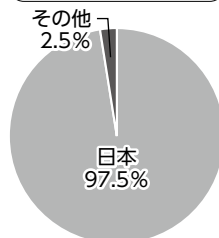
※当作成期間中（第213期～第218期）において追加設定元本は111,534,658円  
同解約元本は 569,732,274円です。

### 種別構成等

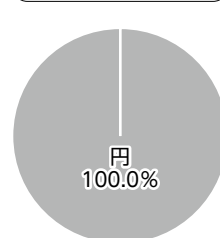
#### 資産別配分



#### 国・地域別配分



#### 通貨別配分



※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

※【国・地域別配分】、【通貨別配分】は、組入ファンドの発行地、発行通貨を表示しています。

154014

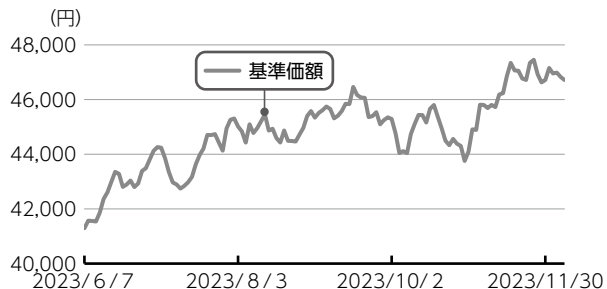
2023年12月7日現在

## 組入上位ファンドの概要

### ▶ グローバル株式インカム マザーファンド

#### 基準価額の推移

2023年6月7日～2023年12月7日



#### 1万口当たりの費用明細

2023年6月8日～2023年12月7日

項目	第213期～第218期	
	金額(円)	比率(%)
(a)売買委託手数料	34	0.076
（株式）	(34)	(0.076)
(b)有価証券取引税	11	0.025
（株式）	(11)	(0.025)
(c)その他費用	4	0.008
（保管費用）	(4)	(0.008)
（その他）	(0)	(0.000)
合計	49	0.109

作成期中の平均基準価額は、44,850円です。

※項目の概要については、前記「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

### 組入上位10銘柄

(組入銘柄数：55銘柄)

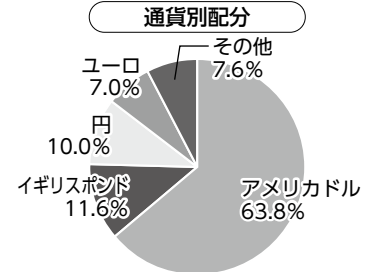
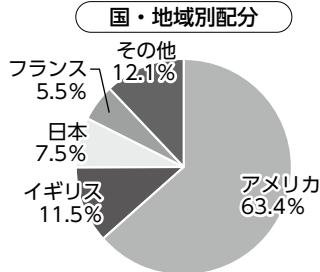
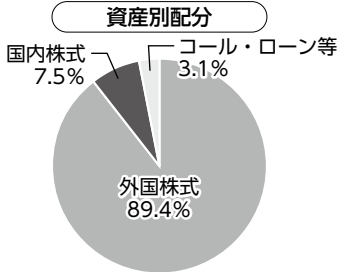
	銘柄	種類	国・地域	業種／種別	比率(%)
1	MICROSOFT CORP	株式	アメリカ	情報技術	6.2
2	BROADCOM INC	株式	アメリカ	情報技術	4.6
3	LEGAL & GENERAL GROUP PLC	株式	イギリス	金融	2.7
4	TARGET CORP	株式	アメリカ	生活必需品	2.6
5	ABBVIE INC	株式	アメリカ	ヘルスケア	2.6
6	ERIE INDEMNITY COMPANY-CL A	株式	アメリカ	金融	2.6
7	SEMPRA	株式	アメリカ	公益事業	2.6
8	INTL FLAVORS & FRAGRANCES	株式	アメリカ	素材	2.3
9	BEST BUY CO INC	株式	アメリカ	一般消費財・サービス	2.1
10	BUNGE GLOBAL SA	株式	アメリカ	生活必需品	2.1

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。  
 ※原則、国・地域については、主要取引所所在地を表示しています。

※業種はGICS（世界産業分類基準）のセクター分類に基づいたものです。GICSに関する知的財産所有権はMSCI Inc.およびS & Pに帰属します。

※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

## 種別構成等



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。  
構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※原則、国・地域については、主要取引所所在地を表示しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余剰資金等と合せて運用しているものを含みます。

154012

2023年12月11日現在

## 組入上位ファンドの概要

### ワールド・リート・オープン マザーファンド

#### 基準価額の推移

2023年6月12日～2023年12月11日



#### 1万口当たりの費用明細

2023年6月13日～2023年12月11日

項目	第226期～第231期	
	金額(円)	比率(%)
(a)売買委託手数料 (投資信託証券)	12 (12)	0.040 (0.040)
(b)有価証券取引税 (投資信託証券)	3 (3)	0.010 (0.010)
(c)その他費用 (保管費用)	2 (2)	0.007 (0.007)
(その他)	(0)	(0.000)
合計	17	0.057

作成期中の平均基準価額は、30,829円です。

※項目の概要については、前記「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

### 組入上位10銘柄

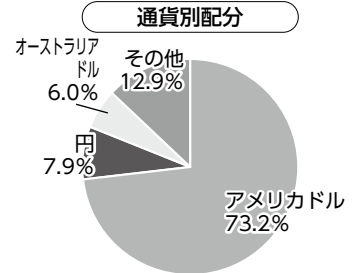
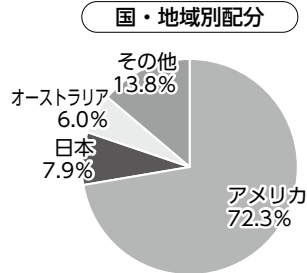
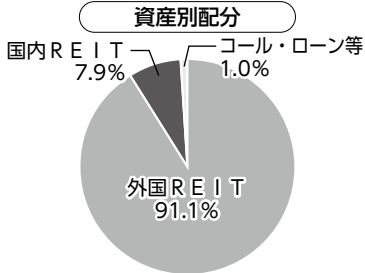
(組入銘柄数：64銘柄)

	銘柄	種類	国・地域	業種／種別	比率(%)
1	PROLOGIS INC	REIT	アメリカ	産業用施設	7.6
2	EQUINIX INC	REIT	アメリカ	データセンター	6.7
3	WELLTOWER INC	REIT	アメリカ	ヘルスケア	6.2
4	PUBLIC STORAGE	REIT	アメリカ	倉庫	4.2
5	DIGITAL REALTY TRUST INC	REIT	アメリカ	データセンター	4.0
6	VICI PROPERTIES INC	REIT	アメリカ	専門特化型	3.3
7	AMERICAN HOMES 4 RENT- A	REIT	アメリカ	住宅	3.3
8	GOODMAN GROUP	REIT	オーストラリア	産業用施設	3.1
9	REALTY INCOME CORP	REIT	アメリカ	小売り	3.1
10	AVALONBAY COMMUNITIES INC	REIT	アメリカ	住宅	3.0

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。  
 ※原則、国・地域については、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・グループが定義した区分を表示しています。

※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

## 種別構成等



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。  
構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※原則、国・地域については、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・グループが定義した区分を表示しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余剰資金等と合せて運用しているものを含みます。



154010

2023年8月7日現在

## 組入上位ファンドの概要

## ▶ エマージング・ソブリン・オープン マザーファンド

## 基準価額の推移

2023年2月6日～2023年8月7日



## 1万口当たりの費用明細

2023年2月7日～2023年8月7日

項目	当期	
	金額(円)	比率(%)
(a) 売買委託手数料 (先物・オプション)	0 (0)	0.000 (0.000)
(b) その他費用 (保管費用)	4 (4)	0.009 (0.009)
(その他)	(0)	(0.000)
合計	4	0.009

期中の平均基準価額は、42,373円です。

※項目の概要については、前記「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

## 組入上位10銘柄

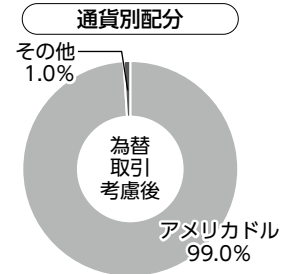
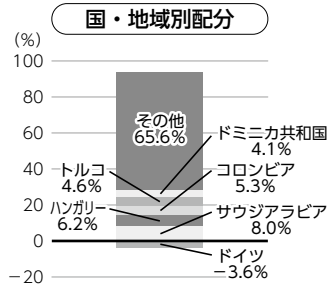
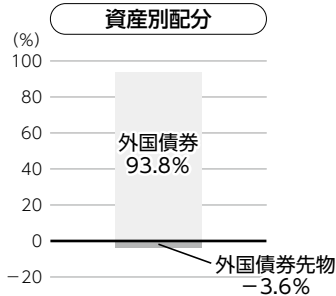
(組入銘柄数：233銘柄)

	銘柄	種類	国・地域	業種／種別	比率(%)
1	5.5 POLAND 530404	債券	ポーランド	国債	2.0
2	5 SAUDI INTERNATI 530118	債券	サウジアラビア	国債	1.9
3	3.125 ABU DHABI G 490930	債券	アラブ首長国連邦	国債	1.8
4	2.783 PERU 310123	債券	ペルー	国債	1.7
5	5 ISRAEL ELEC 241112	債券	イスラエル	社債	1.7
6	4.5 BULGARIA 330127	債券	ブルガリア	国債	1.6
7	4.25 ISRAEL ELEC 280814	債券	イスラエル	社債	1.6
8	6.75 HUNGARY 520925	債券	ハンガリー	国債	1.5
9	7.5 JORDAN 290113	債券	ヨルダン	国債	1.5
10	7.625 ROMANIA 530117	債券	ルーマニア	国債	1.4

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。  
 ※原則、国・地域については、BloombergのCountry of Riskを表示しています。

※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

## 種別構成等



- ※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
- ※資産別配分の先物は買建と売建を別々に表示していません。
- ※原則、国・地域については、BloombergのCountry of Riskを表示しています。

- ※国・地域別配分は、上位5カ国を表示しています。
- ※国・地域別配分は、同一国で買建と売建がある場合、相殺したネットポジションを表示しています。
- ※ロシア国債を保有していますが、当該債券を換金できる見込みが立たないことから、2022年7月1日の基準価額より当該債券の評価価格をゼロとしています。

# 指数に関して

## ▶ ファンドの参考指数①である『MSCI ワールド・インデックス（円換算）』について

MSCI ワールド・インデックス（円換算）は、MSCI ワールド・インデックス（米ドル建て税引き後配当込み）（出所：MSCI）の基準日前営業日の指数を基準日のわが国の対顧客電信売買相場の仲値により三菱UFJアセットマネジメントが円換算したうえ設定時を10,000として指数化したものです。

MSCI ワールド・インデックス（出所：MSCI）。ここに掲載される全ての情報は、信頼の置ける情報源から得たものでありますが、その確実性及び完結性をMSCIは何ら保証するものではありません。またその著作権はMSCIに帰属しており、その許諾なしにコピーを含め電子的、機械的な一切の手段その他あらゆる形態を用い、またはあらゆる情報保存、検索システムを用いて出版物、資料、データ等の全部または一部を複製・頒布・使用等することは禁じられています。

## ▶ ファンドの参考指数②である『S & P先進国REIT指数（円換算）』について

S & P先進国REIT指数（円換算）は、S & P先進国REIT指数（配当込み）米ドル建て（出所：S & P）の基準日前営業日の指数値を基準日のわが国の対顧客電信売買相場の仲値により三菱UFJアセットマネジメント株式会社が円換算したうえ設定時を10,000として指数化したものです。

S & P先進国REIT指数とは、S & Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCが公表している指数で、先進国の不動産投資信託（REIT）および同様の制度に基づく銘柄を対象に浮動株修正時価総額に基づいて算出されています。同指数はS & Pダウ・ジョーンズ・インデックス（S & P DJI）の商品であり、これを利用するライセンスが三菱UFJアセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P DJIは、同指数の誤り、欠落、または中断に対して一切の責任を負いません。

## ▶ ファンドの参考指数③である『J.P. Morgan EMBI Global Diversified（円換算）』について

J.P. Morgan EMBI Global Diversified（円換算）は、米ドル建てのJ.P. Morgan EMBI Global Diversifiedを三菱UFJ銀行の対顧客電信売買相場の仲値により三菱UFJアセットマネジメントが円換算したうえ設定時を10,000として指数化したものです。

なお、J.P. Morgan EMBI Global Diversified（円換算）は、基準日前営業日の同インデックスの指数値を、為替は基準日の三菱UFJ銀行の対顧客電信売買相場の仲値を、それぞれ用いて計算しています。

情報は、信頼性があると信じられる情報源から取得したものです。J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2015, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

## ▶ 「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

### ●東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出される株価指数です。TOPIXの指数値及びTOPIXに係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。

### ●MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

### ●MSCI エマーゼィング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCI エマーゼィング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマーゼィング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

### ●NOMURA-BPI（国債）

NOMURA-BPI（国債）とは、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（総合）のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

### ●FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

### ●JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマーゼィング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマーゼィング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。